



新鮮な地場産の農産物を販売する「ふるさとくるめ農業まつり」

農業・農村が持っている生産機能や多面的機能の理解に向けて

農業まつりで生産者と消費者の交流を進め 農業・農村への理解を促進

ふるさとくるめ農業まつり ほか

知ろっくるめの農業



農業まつりで人気の催し「乳牛の乳搾り体験」
(ふくおか県酪農業協同組合・ミルクコーナー)

毎年11月に開催する「ふるさとくるめ農業まつり」は、昭和50年からスタートし、毎年多くの来場者で賑わう、久留米の「食と農」をテーマとする秋の恒例イベントです。
「ふるさとくるめ農業まつり」は、消費者の皆さんに、地場農産物や農産加工品を通じて本市の食と農の豊かさを理解していただくとともに、生産者との交流を進めることを目的に開催しています。

くるめの食と農を
学習・体感する
秋の恒例イベント

体験型イベントの 充実でより一層の 農業理解を促進

ふるさとくるめ農業まつりでは、農業・農村への理解促進、消費者と生産者とのさらなる交流を促進するために、参加・体験型のイベントを年々、充実しています。

「乳牛の乳搾り体験」、「バター作り体験」、「フラワーアレンジメント教室」、「JA青年部による餅つき」など、参加・体験型の催しは、毎年、来場者に人気となっています。

平成21年に開催した第35回ふるさとくるめ農業まつりでは、「くるめ認定農業者協議会ジャンボカボチャ重量当てクイズ」、「農産物ぬりえコーナー」、「米粉ピザ作り体験」など新たな参加・体験型の催しを開催しました。

様々な催しを通じて 農業・農村の情報を 市民へ発信

久留米市では、農業生産都市である本市の魅力についての市民の理解を進めることを目的に、ふるさとくるめ農業まつりのほか、様々な農業関連の催しを農業者団体と協働して実施しています。

毎年多くの来場者が訪れる「久留米つじまつり」、「久留米植木まつり」では、植木・苗木の生産が盛んな本市の魅力をも市内外に大きくアピールしています。

また、田主丸地域の「田主丸耳納の市」、北野地域の「コスモスフェスティバル」、城島地域の「城島ふるさとまつり」、三潞地域の「ふるさとみづま祭」など地域の特色を活かした様々な催しを実施しています。

さらに、平成22年3月に福岡市で開

催された「ふくおかマルシェ」へ出店するなど、市内外の消費者との交流、久留米の農業・農村への理解を促進しています。



(上)色とりどりの久留米産花苗や植木苗木などの販売。(久留米市植木農業協同組合)

(中)フラワーアレンジメント教室も農業まつりで人気の催しです。(久留米花卉園芸農業協同組合)

(下)福岡市役所ふれあい広場(福岡市中央区)で開催された「ふくおかマルシェ」に市内5つのJAが出店。久留米市内の多彩な農産物を販売し、消費者へのPRを行いました。



■ ■ ■ みつけよう、くるめの宝。 ■ ■ ■ 藤山町で、梨の「お花実会」を開催

平成22年は、藤山町に梨が植えられて100周年となります。明治43年、久留米で初めて梨を栽培したのが、故青柳多津子女史です。藤山町の荒地を開墾して梨の苗木を植栽し、これを起点に梨の栽培が藤山町に広がりました。生産された「藤山梨」は、昭和初期には国内だけでなく、海外へもその名を広めていきました。

このような歴史のある農産物、それらを生産する素晴らしい農村地域の景観を「くるめの宝」として市民に再発見していただく催しとして、毎年4月と8月に藤山町において「ほとめきのお花実会(花と実の会)」を開催しています。

この催しは、地域の農業者、住民とともに商工業者や行政など様々な立場の方々が連携して実施しており、農村地域の活性化につながる優良な事例となっています。



(上)藤山で咲き誇る梨の花、(下)ほとめきのお花実会の開催案内チラシ